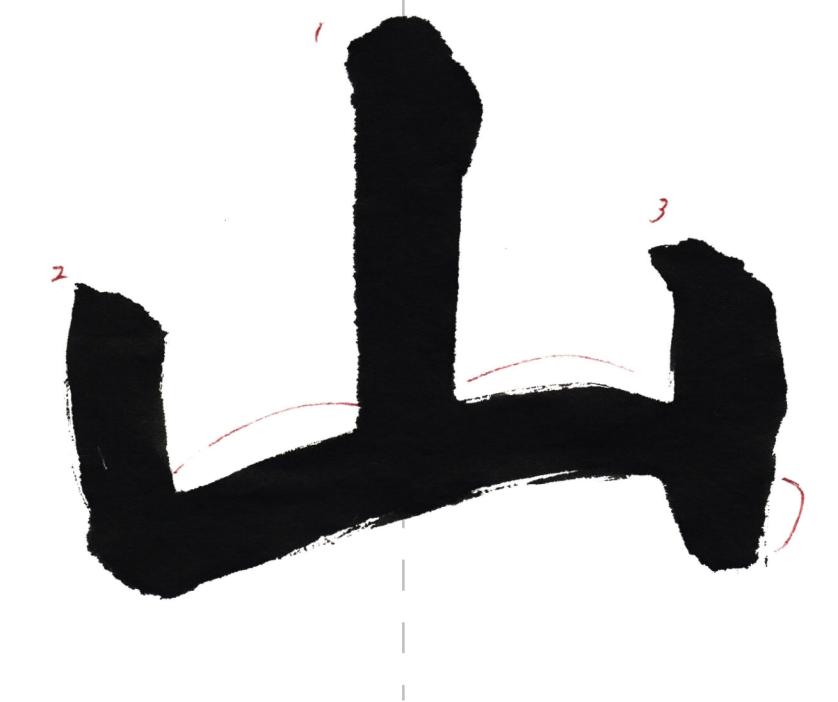
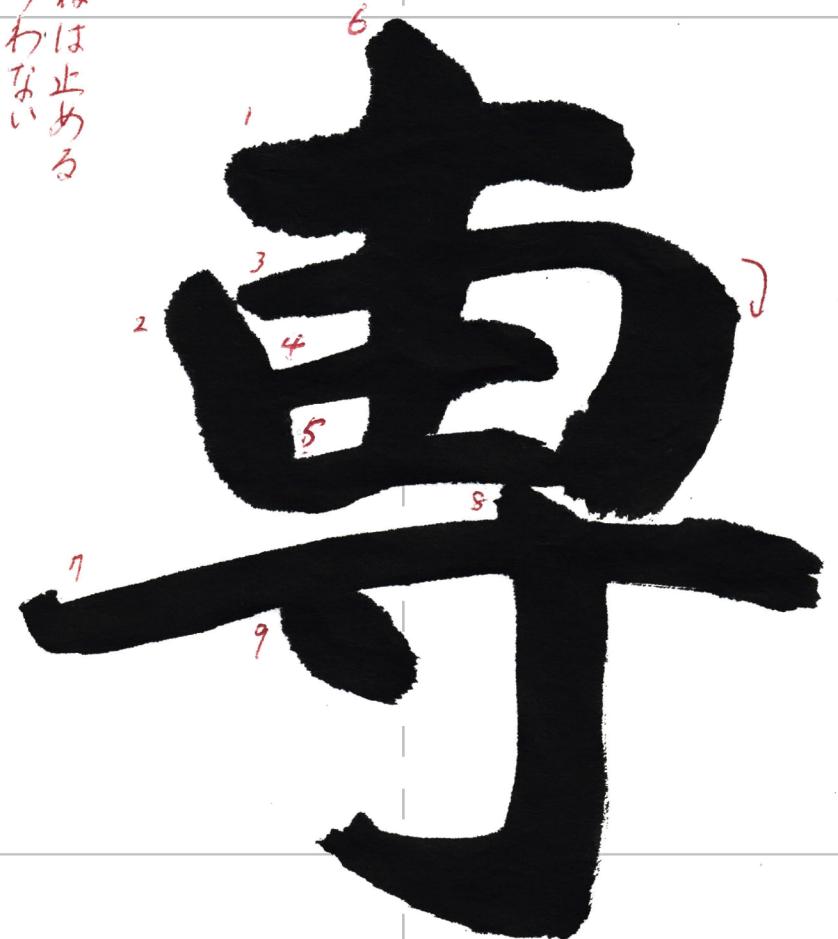
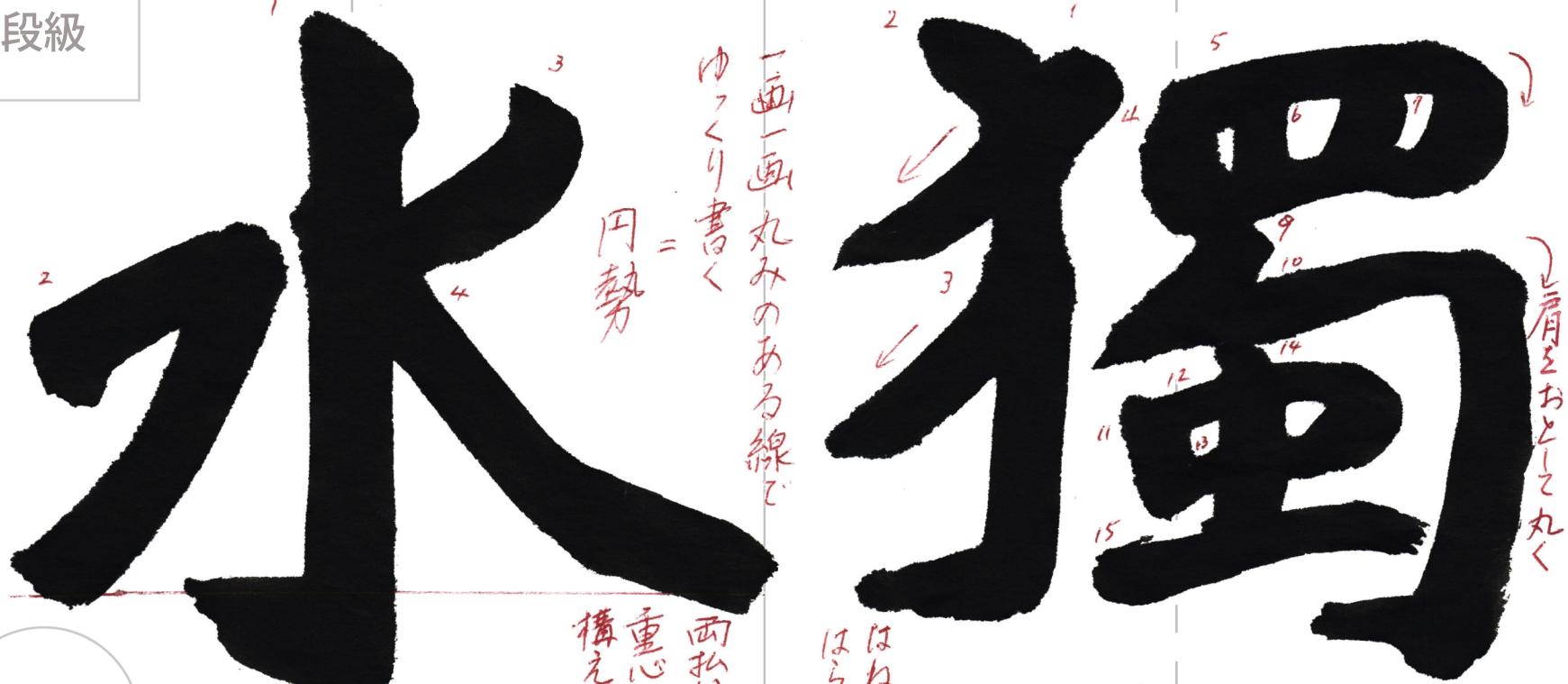


段級



「鄭羲下碑」の倣書で書いています。

各文字は空間を包むように大回りに運筆し、  
点画にはまるみを持たせてています(円勢)。  
字形は、やや重心を低く構えます。

ひとりさんすい　たの  
獨山水の楽しみを専らとする  
田舎にいていつも山水の楽しみを  
ほしままにすることができる  
(蘇軾)